

(様式第 1 号)

平成 29 年 2 月 3 日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : 認知症に関する領域

科 目 名 : 認知症のある人への生活支援・連携

単 位 数 : 2

認証申請する研修の名称 : 認知症ケア概論Ⅱ

団体名 : 目白大学

団体事務所の所在地 : 〒161-8539 東京都新宿区中落合 4-31-1

電話 : 03-5996-3159 (資格支援課 加藤)

FAX : 03-5996-3050

E-mail : sikaku@mejiro.ac.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : 学長 佐藤 郡衛 ㊞

申請責任者 : 荏原 順子

記

○認定介護福祉士研修認証申請書 (別紙 1 ~ 3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙 1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成 29 年 2 月 10 日
申請団体名	目白大学
申請団体代表者氏名	学長 佐藤 郡衛
申請責任者職名 申請責任者氏名	目白大学 人間学部 人間福祉学科 教授 荏原 順子
団体住所 同 Tel・Fax メールアドレス	〒161-8539 東京都新宿区中落合 4-31-1 Tel : (03) - (5996) - (3159) 資格支援課 Fax : (03) - (5996) - (3050) E-mail sikaku@mejiro.ac.jp
申請対象の領域	領域名 : 認知症に関する領域
科目名 (単位数)	科目名 : 認知症のある人への生活支援・連携 (2単位)
申請する研修名	認知症ケア概論Ⅱ
研修認証実績	年 認証番号 () 年 認証番号 () 年 認証番号 ()
その他特記事項	

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	認知症に関する領域	
科目名	認知症のある人への生活支援・連携	
(1) 提供する研修について		
研修名	認知症ケア概論Ⅱ	
研修目標	認知症のある人が地域において自立した生活を営めるように実践的な知識と技術を獲得させるとともに、他の介護職への指導及び認知症のある人を取り巻く環境を形成する他職種や地域との連携を通じて支援していける力を育成する。現場の事例から認知症高齢者の具体的対応方法を学ぶ。認知症に伴うこころとからだの変化、日常生活上のニーズを理解する。認知症ケアの理念・基本的方法、他職種との連携と協働、介護家族への支援方法を学び実践できるようにする。	
到達目標	①認知症に関する生活支援に必要な医療的知識を習得し、他者に説明できる。特に認知症におけるリハビリテーションの重要性を理解し、他者に説明できる。②認知症の生活支援に必要な知識・技術を習得し、実践できる。特に、認知症の BPSD を理解しよりよい対応ができる③症状や使用している薬等から利用者の状態を分析し、適時・適切なケア方法や医療等の他職種連携の必要性について判断できる。他職種との連携・協働を実践できる基礎的力を形成する。④認知症支援に関する社会制度、政策等を理解し、介護家族のストレスに対し適切な支援を展開できる。	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<p>○認知症（MCI、アルツハイマー病の認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉型認知症、若年性認知症等）について</p> <p>○認知症の生活支援に必要な知識・技術（リハビリテーションを含む） ・疾患別、ステージ別アプローチ・パーソンセンタードケアの理解・環境調整・BPSD に対応できるより良いケアの理解・家族介護者への支援</p>	<p>事前課題学習 ①第1回、第2回は、テキスト「認知症の理解」 著者：介護福祉士養成講座編集委員会 出版社：中央法規出版 第3版 ISBN:9784805853092 を事前に読みレポートにまとめ、事前に提出する（A4 1枚）</p> <p>②第4回、第6回は、テキスト「認知症標準ケアサービス」 福島富和 日本医療企画 ISBN:9784890418732 の関連部分を事前に読みレポートにまとめ、事前に提出する（A4 1枚）</p> <p>③第15回は、認知症のパーソンセンタードケア トムキッドウッド 簡書房 ISBN:4887204833 を事前に読みレポートにまとめ、事前に提出する（A4 1枚）</p> <p>第1回 認知症ケア認知症の種類と症状 ケアの基本（講義2時間） 認知症についてその機序、主な症状、生理学的要因、診断・治療、経過・予後（MCI、アルツハイマー病の認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉型認知症、若年性認知症等）</p> <p>第2回 認知症ケア認知症の生活支援に必要な知識・技術（講義1時間 演習1時間） ① 疾患別、ステージ別アプローチ、よく使われる薬、生活上の留意点 ② パーソンセンタードケア等の理解、環境調整、 ③ BPSD に対応できるより良いケアの理解 ④ 認知症リハビリテーションの重要性 (音楽療法、回想法、アニマルセラピー、美術療法)</p> <p>第3回 事例検討(1) こころの奥に気づくには (演習2時間) 事例をもとに認知症のある人が、その事例の場合を考えているのか、何をしようとしていたのかを介護者が気づくためにはどのようにしたら良いかをグループで話し合う。その結果から得られた知識等を生かし実践できるようにする。</p>

<p>○認知症支援に関する社会制度等</p> <p>○他職種連携等の基礎的な知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関するアセスメントツール (DASC-21, Zarit8, DBD13、HDS-R) ・医療職との連携・リハ職との連携 	<p>第4回 原因疾患別・進行段階別時系列チャートの理解 アルツハイマー型認知症中核症状段階別アプローチ (講義1時間 演習1時間)</p> <p>第5回 事例検討(2) 居場所探し (演習2時間) 帰宅願望のある利用者の事例を検討し、施設が利用者としての心地よい居場所になっているのか、安心して過ごせる場所にしていくためにはどのようにしたら良いかを考え実践できるようにする。</p> <p>第6回 原因疾患別・進行段階別時系列チャートの理解 (講義1時間 演習1時間) 行動・心理症状 (BPSD)、疾患別ケア、ステージ別アプローチ観察・記録・情報共有のポイント</p> <p>第7回 事例検討(3) 食のケア (演習2時間) 食事の食べ方に問題がある利用者の事例の検討、安心して落ち着いて食べられる環境づくりを検討し実践できるようにする。</p> <p>第8回 認知症に関するアセスメントツール (DASC-21、Zarit8、DBD13、HDS-R) (講義1時間 演習1時間)</p> <p>第9回 事例検討(4) 排泄のケア (演習2時間) トイレでの排泄が出来なく、放尿や弄便のケースにどう対応していくのか、なくすにはどのようにしたら良いのかを考え実践できるようにする。</p> <p>第10回 認知症ケア認知症支援に関する社会制度・政策等 (講義2時間) これまでの認知症に関する社会制度の歴史を知り、新オレンジプラン (認知症初期集中支援チーム、認知症ケアパス等) も理解する。</p> <p>第11回 事例検討 (5) 不安や怒りの裏付け (演習2時間) 不安や怒りを表す事例について、その原因には何があるのかを考え対応に成功した例をもとに必要なケアを理解し実践できるようにする。</p> <p>第12回 他職種連携・協働のため等の基礎的な知識他 (講義2時間) 他職種連携 (医療職、リハビリテーション職等の理解と連携の場面は何かを理解する)</p> <p>第13回 家族への支援とレスパイトケア (講義2時間) 家族の支援の方法にはどのようなものがあるのかを知る。</p> <p>第14回 認知症に関する社会問題 (講義2時間) 老々介護や介護殺人、行方不明などの社会問題について事例から学ぶ。起こさないようにするにはどのような事が必要かを理解する。</p> <p>第15回 まとめ (講義1時間 演習1時間) 課題学習で得られた内容をグループで話し合い、これまでの各回の学習を振り返りながら、認知症ケアに必要なケアの基本を理解する。</p> <p>事後学習課題：まとめて話し合われた成果をもとに、全体を振り返りレポートを提出する。(A4 1枚)</p>
---	---

研修方法	<input checked="" type="checkbox"/> 通学課程（集合研修） <input type="checkbox"/> 通信課程（通信研修）
研修時間	30 時間（講義 15 時間 演習 15 時間）
修了要件	全授業に出席を前提とする。電車の遅延には遅延証明の提出をする。冠婚葬祭や病気等やむを得ない場合の遅刻早退は 30 分以内であれば認める。30 分を超える場合は当日課題のレポートを提出する。上記のやむを得ない場合の欠席となった場合は証明する物を提出し、補講を行うこととする。
講師要件（講師の選定基準）	<p>認知症に関する講義経験は平成 13 年 4 月より 15 年 3 月まで東海女子短期大学介護養成コース、平成 17 年 4 月より平成 22 年 8 月まで新潟青陵大学看護心理学部介護福祉コース、平成 22 年 9 月より平成 29 年 7 月現在に至るまで目白大学人間福祉学科介護福祉コースにおいて教鞭をとっている。当該科目における十分な知識・専門性を有し、教授として教育経験あり、長崎純心大学博士後期課程修了、社会福祉（博士）看護師（大学教授）。</p> <p>また、東京都福祉・介護人材キャリアパス形成事業派遣講師として現場の認知症ケアの講義、相談にも対応している。</p>
(2) 受講者について	
受講対象（受講要件）	特になし
修了評価（習得度、研修成果）	事前課題についてのレポート提出や最終レポート提出も含む総合的な授業態度 50%、期末試験 50%などをみて総合的に評価する。筆記試験（50 問程度、100 点満点中 60 点以上が合格）大学の規定に基づき、「S」は「A」の評価を受けたもののうち特に秀でた学生（総履修者の 10% 限度）、「A」は 100 点から 80 点、「B」は 79 点から 70 点、「C」は 69 点から 60 点、「D」は 59 点以下で不合格とする。
(3) 研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	25 名
開催場所（都道府県）	目白大学新宿キャンパス教室（東京都）

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	①平成29年4月7日から平成29年8月4日
	②
	③
開催場所 (会場)	①目白大学新宿キャンパス教室
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	教授 荏原 順子
	長崎純心大学博士後期課程修了、福祉 (学術) 博士
	目白大学人間福祉学科教授
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	学校法人目白学園組織管理規則、学校法人目白学園事務組織規則に基づき運営。
研修の企画運営に関する諸 規程	目白大学学則、目白大学人文学部履修規程、目白大学試験及び学習成績の評価に関する規程、
研修管理責任者職名	学長
研修管理責任者氏名	佐藤 郡衛
機構問合先部署	教務部資格支援課
機構問合先担当者氏名	加藤 公生
機構問合先電話番号/FAX	03-5996-3159、Fax03-5996-3050
機構問合先 e-mail アドレス	sikaku@mejiro.ac.jp
受講問合先部署	教務部資格支援課
受講問合先担当者氏名	加藤 公生
受講問合先電話番号/FAX	03-5996-3159、Fax03-5996-3050
受講問合先 e-mail アドレス	sikaku@mejiro.ac.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	教務部教務課
受講履歴の管理方法	大学コンピュータサーバーに保管
受講履歴の証明	単位修得証明書発行の発行
管理責任者氏名	教務部長 鎌田 京子
管理担当者氏名	教務課長 高橋 寛